

CVCだより

春休み号
VOL.6

発行: 中央大学ボランティアセンター (多摩キャンパス6号館地下1階学生課内 042-674-3487) 発行日: 2017年1月



この冬も、中央大学の学生が各地でボランティア活動をしました。被災地支援学生団体とよばれるボランティアセンター公認団体「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市の公民館にてイベントを開催(写真上段左)、「はまらいんや」(写真上段中)、「面瀬学習支援」(写真上段右)は宮城県気仙沼市面瀬地区で活動しました。

「チーム防災」は『学生×教職員 合同防災研修』を多摩キャンパスにて開催(写真下段左)しました。多摩地域の魅力を発見するバスツアーに参加し、地域活動を行った学生のまとめの会を行ったり(写真下段中)、地域での様々なボランティア活動も継続して行っています(写真下段右)。



今年も実施！『大学生ボランティア活動報告＆防災イベント』

今年も2月8日(水)～12日(日)にJR豊田駅近くにある商業施設「イオンモール多摩平の森」を会場として、『大学生ボランティア活動報告＆防災イベント ～被災地と多摩地域の架け橋』を行います。参加大学は中央大学の他、明星大学・法政大学・実践女子大学・首都大学東京・東京薬科大学で、日野市役所・日野市ボランティアセンター・八王子市ボランティアセンターと協力して実施します。お買い物ついでに、ぜひお立ち寄りください！！

- 【活動報告＆防災イベント】
 日時: 2月11日(土)13:00～17:00
 2月12日(日)10:00～16:00
 場所: イオンモール多摩平の森 3Fイオンホール
 内容:
 ・大学生＆中学生による活動発表
 ・防災ワークショップ(避難所運営ゲーム、クロスロード)
 ・被災地応援物産展
 ・防災アトラクション・カエルキャラバン
 ・方言ビンゴ大会
 ・ストレスチェックコーナー

【パネル写真展】
 日時: 2月8日(水)～12日(日)10:00～22:00
 場所: イオンモール多摩平の森 3Fエスカレーター前
 内容: パネルによる写真展



大学の垣根を超えて行った去年の様子



ボランティアの現場より 今回は『落川交流センター』

多摩キャンパスの近く、百草園駅から10分ほど歩いたところに、地域の拠点『落川交流センター』があります。

ここでは災害に備え、まずは顔の見える関係づくりから始めようと様々なイベントを行っています。訓練を兼ねた炊き出し食事会や、近隣のコミュニティ・ガーデンで収穫したばかりの野菜が購入できる市民協働マルシェ…等々。



学生はボランティアを通し、地域の方々との交流を楽しんでいます。さらに今年度からは、ボランティアとは何か、地域の方々と大学生が率直な意見を交わす「ボランティア研究会」も開始しました。学生主催です。

春休みの「**ボランティア研究会**」は、2月19日(日)の13時から行います。

「落川交流センター」は、防災やまちづくり、ボランティアやそのあり方に興味がある方にとっての夢のようなフィールドです。気軽に参加したい方も、深く関わりたい方も、まずは一緒に本物の「地域活動」を見に行きませんか？

【文責：森春菜(法2)】



参加者募集！

★詳細・申込はボランティアセンターへ
chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp

【春休み！何かしたい人のためのボランティア説明会】

もうすぐ春休み！もう予定は決まっていますか？
何かボランティアしたいなぁと思っているアナタにぜひ☆
地域、国内の地方、世界など、さまざまな場所で活躍している先輩たちの体験談を聞きながら、春の予定を一緒に立てて行きませんか？お茶とお菓子も準備して、待ってまーす♪

- ★日時：2月2日(木)11:00～13:00
- ★場所：多摩キャンパス・3256教室(3号館2階)
- ★申込：メールアドレス chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp宛に、件名【春休み・ボランティア説明会】として、1.名前、2.学籍番号 3.メールアドレス を記入して送ってください。

教えて！ チュー王子！



ボランティア応援
マスコットキャラクター
チュー王子

Q. ボランティアをしたいんだけど、日々時間がありません。こんな私ですが、何かしらできることがありますか？

A. 無理することないっチュー！！
例えば空きコマの間で大学の近くで何かしたり、半日空いている、一日空いている時など、工夫次第でできる範囲で探してみるといいっチュー。
もうすぐ春休み。大学生にしかないこの長期休暇は新しいことを始めてみるいい機会だし、ここは狙い目だと思うっチューよ！一歩踏み出すキミのこと、ボクはいつでも応援してるっチュー～！！

『ぼらせん』のひとりごと 丸山佳久・経済学部教授



※ボランティアセンターの運営委員会の先生方による、リレーコラムです。

私のゼミの活動では、東日本大震災の被災地や中山間地域の活性化を図るためのビジネスプランの企画・実践を行っています。学生たちは、富士ゼロックス(株)・遠野地方森林組合等の企業、おらが大槌夢広場・紫波みらい研究所等のNPO、遠野市・紫波町等の自治体を始め、たくさんの方々日々やりとりをしています。

ビジネスと同じように、ボランティア活動においても、企業・自治体・学校・NPO等、たくさんの人たちが関わっています。継続的な活動とするためには、何らかの形で“価値”を生み出し、関係者の方たちと共有する仕組みが必要です。ボランティア活動をするにあたって、どんな人たちに、どのような形でお世話になっているのか、その人たちに皆さんはどのようなフィードバックができるのか、一度考えてみてはいかがでしょうか。

編集後記

6回目の発行となる『CVCだより』。ボランティアの魅力をもっともっと皆さんに知ってもらいたく、年に数回発行しています。

春休みもう間近。実家に地方に海外に、いろんな予定が入っていることかと思えます。学生時代しかない、この自由な時間、ぜひどんどん見知らぬ世界のドアを開いてみてくださいね。

「ちょっと相談したいなぁ」というアナタ。大学ボランティアセンターは春休みでもやっています！また、自分の住んでいる市町村にも、ボランティアセンターはあるので、ぜひ探してみてくださいね！

★メールグリスト配信中★
右記URLから申込できます。
様々な情報発信中！

